

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: アルデヒド C-6

製品コード: B0001581

製造業者/輸入業者/販売業者情報

国内製造事業者等の情報

会社名: 花王株式会社
住所: (〒131-8501) 東京都墨田区文花 2-1-3
電話番号: 03-5630-7601
FAX番号: 03-5630-7964
担当部門: ケミカル事業部門
電子メールアドレス: chemical@kao.co.jp

緊急連絡電話番号: 03-5630-7601

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A

未知の毒性 - 健康

急性毒性、吸入、蒸気 100 %

急性毒性、吸入、粉塵またはミスト 100 %

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） 区分 2

未知の毒性 - 環境

水生環境有害性 短期（急性） 0 %

水生環境有害性 長期（慢性） 0 %

ラベル要素

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

引火性液体及び蒸気。
皮膚刺激。
強い眼刺激。
水生生物に毒性。

注意書き

安全対策:

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 防爆型の【電気機器、換気装置、照明機器などの機器】を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 環境への放出を避けること。 取扱い後はよく洗うこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。 多量の水と石けん(鹼)で優しく洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 火災の場合: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。

保管:

換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。

廃棄:

内容物/容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性: なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質

危険有害成分:

化学名又は一般名	CAS番号	ISHL	ENCS	含有率のパーセント (%)
1-ヘキサナール	66-25-1	(2)-494	(2)-494	

4. 応急措置

必要な応急処置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合: 皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が継続する場合は医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護: データなし

最も重要な、急性及び遅発性の徴候及び作用
症状: データなし

危険: データなし

直ちに必要な医療および特別な処置

処置: 症状が起きたら医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な（および不適切な）消火剤
]

適切な消火剤: 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤: データなし

物質または混合物に起因する特有の危険
有害性: データなし

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法:	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消防士のための特別な保護具:	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。多量の場合、人を安全に待避させる。必要に応じた換気を確保する。
封じ込めと洗浄の方法および材料:	少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
環境に対する注意事項:	環境への放出を避けること。
二次災害の防止策:	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 （局所排気、全体換気等）:	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。適切な排気換気装置を使用する。機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
安全取扱注意事項:	火気厳禁。紙や布等に吸着させ放置した場合、自然発火を引き起こす可能性がある。吸着させた紙等は、直ちに水を含ませるなどの自然発火防止措置をとる。適切な排気換気装置を使用する。取扱い後はよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。
接触回避:	データなし

保管

安全な保管条件:	容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。酸化剤やアルカリ性物質と一緒に保管しない。火気厳禁。
安全な容器包装材料:	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

暴露限界値
製品:

知見なし。

個人用保護措置

眼/顔面の保護具: 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）

手の保護具: 素材: ゴム保護手袋

皮膚及び身体の保護具: 長袖作業衣

呼吸用保護具: 必要により有機溶剤用防毒マスク

衛生対策: データなし

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理状態: 液体

形状: 液体

色: 無色透明～淡黄色透明

臭い: 特有の香気を有する

臭いの閾値: データなし

凝固点: $< 68^{\circ}\text{F}/20^{\circ}\text{C}$

沸点: $263.7^{\circ}\text{F}/128.7^{\circ}\text{C}$

可燃性: データなし

燃焼又は爆発限界の上限/下限

爆発限界－上限: データなし

爆発限界－下限: データなし

引火点: $81^{\circ}\text{F}/27^{\circ}\text{C}$ (タグ密閉式測定器)

自然発火点: $> 212^{\circ}\text{F}/100^{\circ}\text{C}$

分解温度: データなし

pH: データなし

粘度（粘性率）

粘性率:	データなし
動粘性率:	データなし
浮遊時間:	データなし

溶解度

溶解度（水）:	水に難溶
溶解度（その他）:	エタノールに溶解
n-オクタノール／水分配係数:	データなし
蒸気圧:	データなし
比重:	データなし
密度:	0.817 g/ml (68 ° F/20 ° C)
相対ガス密度:	データなし
粒子特性	
粒子径:	データなし
粒度分布:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	通常の使用では安定。本製品は空気中で徐々に酸化する。
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	酸化剤やアルカリとの接触を避ける。
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性（可能性のある全ての暴露経路をリストアップする）

経口 製品:	データなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
経皮 製品:	データなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

吸入した場合

製品: 粉じん、ミストおよびヒューム: データ不足のため分類できない。
蒸気: データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性

製品: データなし

成分:

1-ヘキサナール 区分 2 (88)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品: データなし

成分:

1-ヘキサナール 区分 2A (84)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品: 皮膚: データ不足のため分類できない。
呼吸器: データ不足のため分類できない。

発がん性

製品: データ不足のため分類できない。

IARC:

発癌性成分は確認されておりません。

NTP:

発癌性成分は確認されておりません。

日本産業衛生学会:

発癌性成分は確認されておりません。

EU

発癌性成分は確認されておりません。

生殖細胞変異原性

インビトロ (in vitro)

製品: データ不足のため分類できない。

インビボ (in vivo)

製品: データ不足のため分類できない。

生殖毒性

製品: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品: データ不足のため分類できない。

誤えん有害性

製品:

データ不足のため分類できない。

その他の影響:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期（急性）

魚類

製品:

データなし

水生無脊椎動物

製品:

データなし

水生植物毒性

製品:

データなし

成分:

1-ヘキサナール

区分 2: (88)

水生環境有害性 長期（慢性）

魚類

製品:

データなし

成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

水生無脊椎動物

製品:

データなし

成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

水生植物毒性

製品:

データなし

残留性・分解性

生分解性

製品:

データなし

BOD/COD比

製品:

データなし

生態蓄積性

生物濃縮係数 (BCF)

製品:

データなし

n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)

製品:

データなし

土壌中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	規制されない
その他の情報:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。内容物／容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行う。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

汚染容器及び包装: データなし

14. 輸送上の注意

国際規則

IMDG

国連番号:	UN 1207
UN 正式輸送品目名:	HEXALDEHYDE
輸送危険有害性クラス	
クラス(Class):	3
ラベル(Label):	3
EmS No.:	F-E, S-D
容器等級:	III
少量危険物	5. 00L
微量危険物	E1
環境有害性:	該当せず
海洋汚染物質:	該当せず
使用者のための特別な予防措置:	該当せず。

IATA

国連番号:	UN 1207
UN 正式輸送品目名:	Hexaldehyde
輸送危険有害性クラス:	
クラス(Class):	3
ラベル(Label):	3
容器等級:	III
微量危険物	E1
環境有害性:	該当せず
海洋汚染物質:	該当せず
使用者のための特別な予防措置:	該当せず。

その他の情報

旅客および貨物輸送機: 許可されている。 355
貨物専用航空機に限る: 許可されている。 366

UN 正式輸送品目名 (JP): ヘキサアルデヒド

国内規制

国内規制: 国内法に従う。

応急措置指針番号: 130

15. 適用法令

労働安全衛生法

施行令別表 1 - 4、危険物・引火性の物

毒物及び劇物取締法

規制されない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

規制されない

化学物質排出把握管理促進法

規制されない

消防法:

第 4 類: 引火性液体, 第二石油類, 非水溶性液体, 指定数量 (1000 リットル)
危険等級 III

船舶安全法・危規則:

引火性液体

航空法・施行規則:

引火性液体

火薬類取締法:

規制されない

高圧ガス保安法:

規制されない

輸出貿易管理令

規制されない

登録状況:

TSCA:	On or in compliance with the inventory
Canada DSL Inventory List:	On or in compliance with the inventory
Australia AICS:	On or in compliance with the inventory
Korea Existing Chemicals Inv. (KECI):	Contact us for information
Japan (ENCS) List:	On or in compliance with the inventory
Japan ISHL Listing:	On or in compliance with the inventory
Philippines PICCS:	On or in compliance with the inventory
China Inv. Existing Chemical Substances:	On or in compliance with the inventory
REACH (EU):	Registered
Taiwan Chemical Substance Inventory:	On or in compliance with the inventory

16.その他の情報

免責条項:

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡をお願いいたします。

香料製品の場合は、香粧品原料として通常の使用ではIFRAスタンダードに適合しています。詳細については供給者に問い合わせして下さい。

引用文献:

- ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2019)
- ・ 国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
- ・ GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2019
- (84): IFRA-IOFI LABELING MANUAL
- (88): ECHA-REACH Registered Substances Database